

# 東日本大震災への対応について

## 1 リスク管理、BCP

震災発生直後、本社に地震対策本部を立ち上げ、ただちに社員の安否確認を行うとともに、事業所の被害状況の確認を行いました。また、被災地域事業所への救援物資の手配、搬送を行いました。

幸い当社グループ社員におきまして、人的被害はありませんでした。ただ、停電や津波被害によって、一部事業所にて操業停止する事態となりました。

### ■セメント製造工場

栃木工場（栃木県佐野市）では、停電等の影響により操業を停止しましたが、一両日中に操業を再開しました。

高知工場（高知県須崎市）では、大津波警報発令後、直ちに設備を停止、全従業員が高台へ避難いたしました。なお、津波による設備の浸水等の被害はなく、一両日中に操業を再開しました。

また、当社連結子会社の八戸セメント株式会社（青森県八戸市）でも震災発生後設備を停止、全従業員が避難しました。セメント製造設備に大きな損傷はなかったものの、港湾出荷設備に津波被害があったことや停電等の影響により、震災後32日間操業を停止し、4月13日に生産を再開しました。

### ■サービスステーション(SS)

セメント出荷拠点であるサービスステーション(SS)では、仙台港SS（宮城県仙台市）、小名浜SS（福島県いわき市）にて、津波による設備被害がありましたが、現在では、各々10月中旬、9月下旬に復旧しております。両SSとも復旧を果たし、安定供給の体制を整えています。

## 2 当社の課題

### ■セメントの安定供給

被災地域の復旧、復興に不可欠なセメントの供給に問題の生じることのないよう、安定供給のため万全の体制を整えます。

### ■災害廃棄物の処理

八戸セメント株式会社では、津波で被災した飼料や、港湾から回収された廃タイヤについて処理を行いました。また、栃木工場では津波の浸水被害を受けた政府備蓄米の処理を行いました。今後、地域社会の復興のため、ガレキ処理など最大限協力すべく地元自治体との協議を行っています。

### ■BCPの見直し

東日本大震災の経験を踏まえて、「大震災マニュアル」の見直しに着手しております。

## 3 夏期節電対策

政府が決定した「夏期の電力供給対策」を踏まえ、当社では本社、支店、研究所等において20%の節電（セメント製造部門では15%）を目標として取り組みました。

### ■節電の具体的な取り組み内容

#### 1 勤務体制の見直し

- ① 休日の振替により節電取り組み期間の休日を増加
  - 11月3日、23日→8月10日、11日に振替
- ② 勤務時間の変更
  - 勤務時間を8:30～17:15に変更（通常9:00～17:45）
- ③ 最終退社時間設定
  - 最終退社時間を19:30とし、以降は全館消灯

#### 2 設備関連の見直し(本社での対策例)

- ① 照明関係
  - 照明の間引き、昼休みの消灯励行等
- ② 空調関係
  - 28度の空調温度設定、空調設備のOFF時間の前倒し
  - 本社窓に熱線遮蔽フィルム貼付
- ③ OA機器関係
  - PCに節電ソフトを設定
- ④ その他
  - エレベーター運転基数の削減、自動販売機廃止等

## 4 その他

### ■義援金と支援物資

当社は、被災地域の支援等にお役立ていただくため、1000万円の義援金寄付および支援物資を提供させていただきました。また、社員による義援金も寄付させていただきました。

## TOPICS

# 自家発電および電力供給事業について

当社では、従来より、セメント工場への自家用発電設備の導入を進め、使用電力の安定化を図るとともに、余剰電力を地域の電力会社に供給することで、地域の電力需要の一端を担ってきました。

赤穂、高知工場では石炭火力発電設備を導入しており、両工場では電力自給率100%を実現しています。また、栃木工場では、木質バイオマスを主燃料とする発電設備を導入し、再生可能エネルギーの活用を進めています。

今春の一部地域における計画停電および、今夏の電力不足への対応につきましても、上記セメント工場では、自家発電設備の活用によって、操業自体への大きな影響はありませんでした。また、栃木工場では、政府からの夏季電力使用制限へ積極的に対応し、自家発電余剰電力の供給増により地域社会の電力安定供給に貢献しました。



赤穂工場自家発電設備

## TOPICS

# 当社遊休地(福島県いわき市)の仮設住宅用地としての提供について

当社では、福島県からの要請を受け、被災地域の支援の一環として、当社が福島県いわき市四倉町に所有する遊休地を仮設住宅用地として無償で提供いたしました。当該用地には、福島県によって仮設住宅が約280戸建設され、入居が始まっています。

当該用地は、当社の前身である磐城セメント株式会社の四倉工場を1986年に閉鎖し、その後機械設備等を撤去し、更地の状態で現在まで遊休地として管理してまいりました。また、2007年には当社創立百周年の一環として、その一角を公園として整備し、地域の皆さま

ま憩いの場としていわき市に寄付させていただきました。このたびの遊休地提供が、避難生活を送られている方々に対し、微力ながらお役にたつことができれば幸いですと考えております。



四倉工場跡地